



2年生は、国語の「見つけ学習」と生活科のおもちゃ作りの様子をお知らせします。友達と関わり合いながら自分の考えを見つめ直したり、新たな気づきが生まれたりしました。

◎見つけ学習：国語

国語の授業では、物語文「かさこじぞう」や、説明文「ビーバーの大工事」などで見つけ学習を行いました。物語文では「心に残ったところ」、説明文では「すごいところ」を場面ごとに見つけて線を引き、その部分について自分が思ったことや考えたことを書きました。その後学級全体で共有し、最後に最も興味が集まった部分について話し合いました。共有の場面では、友達の発表を聞いて自分1人では気付かなかったことに気付いたり、友達の気づきに共感してより考えを深めたりしました。「かさこじぞう」では、実際に手作りの地蔵様に笠や手ぬぐいをかぶせたり、地蔵様に積もった雪を掻き落とす真似をしたりしながら、動作化を取り入れてより主人公のじいさまの思いを感じることができました。雪を掻き落とす場面では、見つけ学習の後、班で考えを交流するなど、友達との関わり合いの場面が多く見られました。



◎生活科「ロケットを飛ばそう」

トイレットペーパーの芯、割り箸、輪ゴムを使って、美しい宇宙に飛んでいくためのお気に入りのロケットを作りました。カッコいい羽のついたロケット、遠くに飛ぶロケット、かわいい飾りのついたロケットなど、目指すロケットは人それぞれ。割り箸をつなげて発射台を長くする、ゴムの数を変えて飛ばしてみる、飛ばすときの手の角度を変えてみるなど、試行錯誤しながら活動しました。友達のやっていることを見て参考にしたり、教え合ったりするなど、関わり合う姿がたくさん見られました。その中でいろいろな気づきが生まれました。話し合いの時間を設けてその気づきをみんなで共有し、ロケットを何度も改良してお気に入りのロケットに近づいていきました。最後は、お気に入りのロケットをみんなで飛ばして遊びました。

